

研修会報告

令和5年11月25日



第二回研修会では46名の方にご参加いただきました。

講演1 北九州市保健福祉局 障害福祉部

精神保健・地域移行推進課 精神保健係 係長 早田清孝氏より精神保健福祉法改正について北九州市の精神保健福祉行政の状況、令和4年の法改正にあたって障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律案の概要、医療保護入院の見直し、訪問支援員派遣の流れ、自治体の相談支援の対象の見直し、障害者権利条約についてお話しいただきました。

講演2 講師 本会会長 今村浩司氏より障害者虐待について

滝山病院で起きた事件に触れ、虐待の種類や定義、日々の患者さんの接し方、虐待の発生要因、関わる方のスキル、職場環境についてお話しいただきました。

後半 虐待をテーマに、松井竜司さん(クレド 管理者)と川口裕太さん・福田美織さん(南ヶ丘病院)に話題提供していただき、7グループに分かれフリートークを行いました。

研修終了後は名刺交換会をしました。

アンケートから

～感想～



- ・法改正を学ぶ機会がないので、勉強になった。新しく始まった制度や始まる制度について知識を深めることができた。
- ・医療機関における相談体勢について、しっかりとした議論と準備が必要であるという認識が持てた。自身の視点を見直す機会になった。
- ・虐待について再度考えるきっかけとなった。無意識のうちに虐待につながる危険性を意識していく必要を感じた。もっと啓発していかなければいけないテーマなので多職種とも共有していきたい。
- ・慣れて支援者側の意見で支援するのではなく、リーガルエビデンスに基づいて、福祉的視点から改めて行動していこうと思った。
- ・久しぶりのグループワークで、自身の業務を振り返ったり、皆さんから貴重な意見をいただいたり、ざっくばらんに様々な意見を聞くことが出来て大変勉強になった。発表がなかったので、構えず色々と話ができた。もう少しフリートークの時間が欲しかった。
- ・名刺交換が良かった。久しぶりに対面研修に参加して、久しぶりに会う方も多く、充実した研修となった。

～今後取り上げてほしいテーマ～

実習指導 社会資源の共有 後見人制度 虐待や権利擁護 他職種との連携 診療報酬改正
メンタルヘルス 診療報酬改正 2024年のトリプル改定(医療保険の診療報酬・介護保険の介護報酬・障害福祉サービスの報酬)



フリートークでの様子

あとがき

「やっぱり直接会って話を聞く、話すっていいね～」研修会が終わった直後の理事の第一声でした。コロナウィルス感染症が5類に引き下げられましたが、皆さまからのアンケートを見ても、どの関係機関も直接会ったり、グループワークなどはまだまだ機会が少ないのだなと痛感しました。以前のように直接会って情報を共有する、対話できる喜びを実感することができました。引き続き、当会でも横のつながりを大切に、このような機会を継続していけたらと思っています。ご参加が難しかった方、次回はぜひお待ちしております。

